

株式会社ホプニック研究所への事業承継投資実行

— 経営者人材を外部招聘し更なる事業成長を目指した事業承継支援事例 —

AJ キャピタル株式会社

<https://www.ajcap.co.jp/>

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：谷川 啓、本店：東京都千代田区、以下「あおぞら銀行」）と日本アジア投資株式会社（代表取締役社長：下村 哲朗、本社：東京都千代田区、以下「JAIC」）が共同設立したファンド運営会社である AJ キャピタル株式会社（以下「当社」）は、無限責任組合員として運営する事業承継ファンド「サクセッション2号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を通じて、主にサングラスに使用される機能性レンズの製造/販売を行う株式会社ホプニック研究所（本社：福井県鯖江市下野田町27字46番地、代表取締役会長：高木俊治、以下「ホプニック研究所」）の株式を創業者一族の資産管理会社より取得し、事業承継を完了致しました。


今回の投資が、当ファンドからの第3号案件となります。また、本件は、株式会社福井銀行（代表執行役頭取：長谷川 英一、本店：福井県福井市、以下「福井銀行」）の投資専門子会社である株式会社ふくいキャピタルパートナーズ（代表取締役社長：春木 浩人、本社：福井県福井市）の運営するファンドと当ファンドが、共同でホプニック研究所の全株式を取得した投資案件です。当社が運営するファンドにとって、初の他ファンドとの共同投資事例となります。

ホプニック研究所は、偏光レンズや特定の波長をカットするレンズ等の機能性メガネレンズの開発、製造を目的に、1988年1月に現代表取締役会長の高木俊治氏により設立されました。メガネ関連製品の製造工場が集積していることで有名な、福井県鯖江市に所在しています。顧客からの繊細な要望/仕様変更に耐えうる製品開発力、少量多品種に対応可能な生産体制、特許に守られた製造技術を強みとし、海外顧客を中心に安定した顧客基盤を有する機能性レンズ業界のニッチトップ企業です。今般高木俊治氏には、後継社長の当ファンドからの派遣や、あおぞら銀行並びに JAIC が有する海外ネットワークを活かした事業成長支援への期待感から、当ファンドへの事業承継を決定していただきました。なお、高木俊治氏には2024年12月末まで代表取締役会長として、以後も顧問として当面の間、経営/技術/営業面をサポートしていただきます。

ホプニック研究所が製造する機能性レンズを利用したサングラスの市場規模は、目の健康への関心の高まりを背景に新興のアジアの途上国をはじめとして欧米を含む全世界の市場で成長が続いております。そのため、当ファンドでは、ホプニック研究所の製造する機能性レンズに対するニーズは今後更に高まっていくものと見込んでおります。当ファンドは、ホプニック研究所の更なる成長に向けて、地域の地域金融機関である福井銀行と連携して、ホプニック研究所の課題である内部管理体制の構築、次世代の人材育成体制の拡充、本社の建替、及び、海外販路拡充などへ向けた営業体制強化などをサポートしてまいります。

当社は全国の地域金融機関とも連携し、従来の投資ファンドではあまり投資対象として検討しなかった、企業価値で10億円未満のスマールキャップゾーンを投資ターゲットとする事業承継ファンドを運営しております。今後も、地域経済の核となる中小企業の事業承継を当ファンドを活用して支援し、円滑な事業承継を推進することを通じて、地域創生や地域活性化に貢献し我が国経済の発展に寄与していく所存です。また、他ファンドとの共同投資も引き続き検討していきます。

<ホプニック研究所について>

商号	株式会社ホプニック研究所 
所在地	福井県鯖江市下野田町 27 字 46 番地
代表取締役	高木 俊治
設立	1988 年 1 月 20 日
資本金	10 百万円
事業内容	機能性レンズの製造/販売

<当社について>

名称	AJ キャピタル株式会社
所在地	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
代表取締役社長	小林 正行
設立年月日	2018 年 4 月 24 日
資本金	20 百万円 (含む資本準備金)
株主構成	あおぞら銀行 50%、日本アジア投資 50%

<当ファンドについて>

ファンド名称	サクセッション 2 号投資事業有限責任組合 (英文表記 Succession Investment Limited Partnership, II)
所在地	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
ファンド総額	51.01 億円
ファンド設立日	2022 年 8 月 16 日
無限責任組員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組員 (五十音順)	あおぞら銀行、阿波銀行、池田泉州銀行、愛媛銀行、鹿児島銀行、岐阜商工信用組合、京葉銀行、荘内銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行、日本アジア投資、福井銀行、北都銀行、ゆうちょ銀行
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

以 上